

進路指導部だより

令和6年度

第5号

早いもので今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様には、日々の教育活動や校内外の活動等において、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。今後も、進路指導部だよりを通して、進路に関わる情報をお伝えしていくとともに保護者の皆様との連携を密にしていきたいと思っていますので、進路についてのご相談やご質問がある場合は、学級担任を通してお気軽にご相談ください。よろしくお願い致します。

さて、今号は肢体不自由教育部門（B部門）中学部の進路に関わる取り組みについてです。進路に関する知識、関心を高めることや目指す進路につながる力を養うために、各学年及び課程ではどのような進路学習を行っているのかをご紹介します。

各学年の取り組み



中1

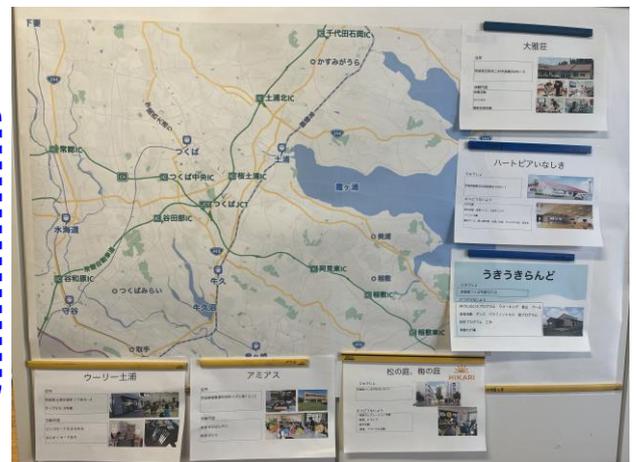
総合的な学習の時間「進路について考えよう」では、自分が利用している放課後等デイサービスや、居住地にある福祉施設について調べました。

調べたことをスライドにまとめて、学年の友達に紹介することができました。



中2

総合的な学習の時間に、「進路について学習しよう」という単元で、各課程や希望の進路先に合わせてグルーピングをし、大学や福祉施設について調べました。大学を調べた生徒たちは、オープンキャンパスから入試の情報を主に調べました。他のグループは、自分が住んでいる地域の移行支援、A型、B型の福祉施設について、住所や活動内容を調べました。また、調べた内容をお互いに発表することができました。



中3

高等部の校内実習を見学しました。班ごとに見学し、先輩たちが頑張っている様子を見近に見ることで、卒業後の生活を意識し、将来の目指す姿に向かって頑張ろうとする気持ちを高めることができました。

実際に使用している教材も触ったり、匂いをかいだりして五感で体験することができました。



各課程での取り組み

【Ⅰ課程 職場見学】『「働く」ことについて考えよう～職場見学を通して～』



○職場見学の目的

- ・ 見学を通して働くことの喜びや厳しさを知り、働くことの大切さや責任感に気付く。
- ・ 働く人の様子や関心のある職場を見学し、職業や自己の適性について考える手がかりとする。
- ・ 実際の職場を見学することで、挨拶や言葉遣い等のマナーや社会性を体験的に学ぶ。

産業技術総合研究所へ職場見学に行きました。障害者雇用で働く方の話を聞いたり、インタビューをしたりしました。周囲の方とコミュニケーションをとる時のコツや、仕事を効率よく行うために工夫していること、どのように職場を決めたかなど個人が気になっていることを質問し、「働く」ことイメージを膨らませました。また、働くためには、どのような力が大切かという話を受け、日ごろから生徒自身が自分自身の課題を見つめて生活できるように指導していきたいと思います。



【Ⅱ課程 社会】『「身の回りにある仕事について調査しよう」～事業所見学を通して～』

- #### ○目的
- ・ 身近な事業所を見学し、働く人について知る。
 - ・ 集団行動でのマナーを守って見学する。

「株式会社フューチャーサポート サポートセンターきずな PLUS」を見学しました。働く人の様子を見たり、インタビューをしたりして、仕事に向かう姿勢や仕事を行う上で大切なことを学ぶことができました。また、実際にボールペンの組み立てを体験し、「このお仕事やってみたい。」

と話す生徒の様子も見られました。そして、職業・家庭では作業学習と関連して「作業（仕事）をする上で必要なコミュニケーションの取り方」などについても学習しています。それぞれの学習を関連させながら理解を深め、将来必要な力を身に付けることができるようにしています。



【Ⅲ課程 自立活動】『「生活」～旅行へいこう～』

○目的

- ・ 青森県や京都府等の名物や伝統文化に触れる。
- ・ 旅行に行くための電車、りんご狩り、ねぶた、温泉等、テーマに合った疑似体験をする。
- ・ 映像の音を聞いたり、具体物を見たり、触れたりして、声や表情などで気持ちを表出する。



旅行先の名物や伝統文化を疑似体験するために、温泉の硫黄の匂いを感じたり、ねぶた祭りの掛け声を聞いて模型を引いたり、手を伸ばしてりんごの模型を取ったりしました。自分なりの方法で、気持ちを表出することができました。

Ⅲ課程の授業では、いろいろな物に触れたり、音を聞いたりする活動の中で好き、楽しい、苦手などの気持ちを自分なりの方法で表現し、周囲の人に伝えていく活動に取り組んでいます。これらの活動は車いすでの座位の姿勢だけでなく、それぞれが取り組みやすい姿勢で行うこともあります。また、ふれあい体操や歩行など、健康面を目標とした活動にも取り組んでいます。

